

帯広開発建設部

Web 広報誌

第16号

平成28年12月16日

発行



十勝台風被害
復旧に全力

道をつなぐ。

日勝峠、来年秋頃の開通を目指す

橋梁10箇所、覆道3カ所 合計66カ所の被災を約1年で復旧へ

夏の台風により甚大な被害を受け、通行止めが続いている国道274号日勝峠について、来年秋の通行止め解除を目標とすることを発表しました。

被災状況の調査により、落橋等による橋梁損傷が10箇所、雪崩・地吹雪対策用の覆道の損傷が3箇所、道路本体が大きく欠損した箇所が6箇所等、合計で66箇所の被災を確認しました。今般、詳細調査、復旧工法の検討が進捗したこと及び全線に渡る工事用車両等の進入路の確保が完了したことにより、概略の工程計画の立案が可能となったことを受けて開通目標を示しました。

なお、通行止めとなっている国道274号の代替路として実施中の道東自動車道占冠IC～十勝清水IC間の無料措置は、継続します（報道提供資料は[こちら](#)をご覧ください）。



人流・物流を担う幹線「日勝峠」

国道274号日勝峠は、農林水産物の生産エリアである道東と道央圏を連絡する幹線道路です。

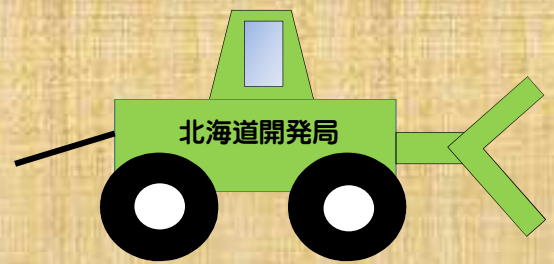
また、沿線地域の観光振興を支える交通の要所でもあります。

帯広開発建設部では、路線を分担して管理する室蘭開発建設部とともに、被災状況を踏まえ、来秋の開通を目標として復旧に努めます。



道東道占冠～十勝清水間 無料措置は継続

車両移動訓練



12月7日（水）、帯広開発建設部帯広道路事務所で災害対策基本法に基づく車両移動訓練が実施されました。

訓練の趣旨

平成26年の災害対策基本法の改正により、大規模災害時に、緊急車両のルートを確認するために、道路管理者が放置車両を移動させることが可能となりました。今回の訓練は、実際に災害が起きたことを想定し、放置車両を移動させる際の手順や連絡の確認などを目的とするものです。



訓練には当部を始め、新得警察署および北海道自動車処理協同組合、管内の道路年間維持業者も参加しました。

本来ならばもう少し暖かい時期に開催する予定でしたが、今年度は台風災害の復旧作業などもあり、非常に寒い中での訓練になりました。

本番のつもりで訓練しましょう！

訓練は、放置車両に所有者が乗車している場合や無人の場合、鍵の施錠の有無、横転車両など様々なケースを想定して行われました。

車両所有者や対策本部など役割を決め、鍵が掛かった無人の放置車両は実際に窓を割るなど本格的な訓練となりました。



挨拶をする葛西帯広道路事務所長



引き起こされる横転車両



本部（右）へ報告



解錠するために割られた窓

今回の訓練により、各関係機関の防災意識の向上と連携の確認がなされました。

帯広開発建設部では、十勝管内の安全・円滑な道路交通の確保にこれからも取り組んでいきます。



放置車両は重機により移動させる

現場説明会も

出前講座がおもしろい！

帯広開発建設部では出前講座・現場説明会を開催しています。
今年開催した事例をご紹介します。

治水

川に関する生涯学習講座



河川環境など川を題材に講演を行います。夏の台風被害をふまえて、堤防やダムなどの効果や防災の取り組みについても説明を行いました。帯広東小学校PTAなどを対象に今年度は3回行っています。公表している浸水想定区域図への関心の高まりなど、水防への意識の変化が感じられます。

港湾

十勝港のはなし
十勝港みなと見学会



十勝港のはなしでは、十勝港の役割や歴史、整備状況などを紹介します。十勝港みなと見学会では港湾業務艇「ふよう」により、海から十勝港の風景を眺めることができます。広尾町の十勝港まつりとの共催など、今年度は3回行っています。

機械

災害対策用機械の種類と役割について



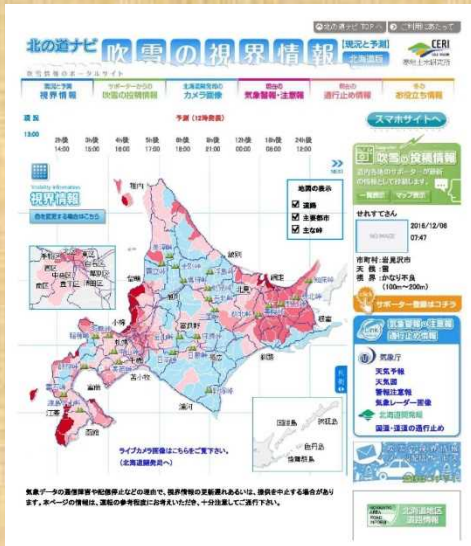
帯広開発建設部で管理している災害対策用機械の展示を行い、災害対策用機械の種類や役割について説明します。オビヒロホコテンや池田町のこども祭りで対策本部車の展示をするなど、今年度は4回行っています。

出前講座・説明会のメニューは帯広開発建設部HPでご確認ください

http://www.ob.hkd.mlit.go.jp/hp/sougou/ob_demae/demae.html

冬のドライブに活用

北の道ナビ「吹雪の視界情報」

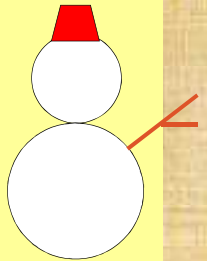


寒地土木研究所では、冬道の運転に役立てるため、北の道ナビサイトで「吹雪の視界情報」を提供しています。

視界情報は現況から、数時間おきに24時間後までの予測を確認することができ、視界が悪くなるごとに地図上の朱色が濃く表示されます。ホームページのほか、視界情報のメール配信サービスもありますので、冬の安全なドライブに活用ください。

<http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm>

メール配信サービスの登録はバナーをクリック



音更町の小学生を対象に防災教育を実施 ～十勝川の減災に関する取組～

平成28年8月の大雨により、音更町市街地を貫流する音更川では音更水位観測所にて戦後最大である昭和56年8月洪水を上回り、既往最大の水位を記録しました。

多くの児童が音更川の増水状況を経験した木野東小学校において、11月1日に音更町の協力を得ながら防災教育を実施しました。ハザードマップの説明のほか、避難所である下音更中学校までの避難ルートを実際に歩く訓練を行いました。

帯広開発建設部では「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組として、十勝川減災対策協議会を設置し、流域市町村と連携し、減災のための施策を行っていきます。

川の水位は →



洪水浸水想定区域図は [こちら](#)

